

**水島協同病院**  
 倉敷市水島南春日町1-1  
 代表 086-444-3211  
 外来 086-444-1222



日本医療機能評価機構  
 「信頼の病院」マーク  
 ISO9001 認証取得

# 水島協同病院 だより

No. **360**  
 2024. 7月号



水協のホームページもご覧ください

<https://www.mizukyo.jp>

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

夏の健診おすすめします ゆったり受けていただけます

救急の現場から

## 熱中症予防について

総合診療専攻医 友野宏志 医師



熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態をさします。屋外だけでなく、室内でも発症し、救急搬送されることや、場合によっては死亡する場合もあります。

昨年の5月〜9月に、全国で熱中症のため救急搬送された患者さんの数は91467人と平成20



晴雨兼用の傘をもっておくこともおすすめします

### こんなときはすぐに 救急車を呼んでください！

- ・目がうつろでぼんやりしている
- ・口から水分がとれそうにない
- ・会話ができない

年からの集計で過去2番目に多い年でした。年齢で分けると、50%以上が高齢者で、成人、小児と続きます。重症度では70%近くが軽症でした。発生場所は住居が40%を占め、他道路、屋外、職場が続きます。このことから、住宅に住んでいる高齢者の方が多く搬送されていると考えられます。

熱中症を予防するためには室内では扇風機やエアコンで室温を調整する、遮光カーテンやすだれを使う、屋外では帽子や日傘を使う、喉が乾いてなくてもこまめに水分を摂取する、などがあります。水分摂取の重要なポイントとしては水ではなく、スポーツドリンクなどで水分だけでなく塩分も摂取することが必要です。

## 誤解されやすい 子どもたち

公認心理師 だんじょう たかし 檀上 貴史

### ～「発達障がい」への正しい理解を～



近年、保育園や学校から「発達障がいがあるかもしれないので病院でみてもらってください」と言われ、相談に来るお子さんが増えています。最近では発達障がいのある人を主人公にしたドラマも増えました。しかし見た目にはわかりにくい障がいのための「わがままでは？」「努力が足りない」などと誤解されることもまだまだ多いように思います。

例えば、生まれつき他の子よりエネルギーが多い子の場合、先生の話を真剣に聞いている時も体を動かしたり何かを触ったり、時には立ち上がるなどごそごそと動くことがあります。その子自身も意識せずそんな



のですが、じっとして聞くより体のどこかを動かして聞いた方が話に集中できるようです。実際、担任の先生に聞くと「よく動いているけど話は意外に聞いています」と言われたりします。しかしその姿を大人が見ると「こっちゃんが真剣に話しているのに、手悪さしたりして真剣に聞いていない」と見えてしまうため「ふざけないで真面目に聞きなさい！」と叱られることとなります。そう言われるとその子はじっとして聞こうとするのですが、今度はじっとすることにエネルギーを使うため、話の内容が入ってこなくなります。これはほんの一例ですが、発達障がいのお子さんにはこうした誤解されやすい面がいくつもあつたため、その子がどんな思いでそうしているのかを正しく理解してあげることがとても大切だと思います。



募集要項

〆切  
7/31

《問い合わせ》  
 TEL : 086-444-3211  
 水島協同病院ロゴマーク  
 プロジェクトチーム(西村)

提出アドレス :  
 syomu@mizukyo.jp



応募フォーム▶

あなたへのデザインが当院のロゴマークになる！

ご応募お待ちしております！

水島協同病院  
のロゴマークを募集しています

7/31(水)

最優秀賞1名 賞状、副賞3万円相当  
 優秀賞数名 賞状、副賞1万円相当

応募資格  
 1. 18歳以上の国民  
 2. 水島協同病院のロゴマークを制作することを目指す  
 3. 応募作品は、水島協同病院のロゴマークを制作することを目指す

募集期間  
 2024年5月13日(月)～7月31日(水)

応募方法  
 1. 応募作品は、A4サイズで提出してください。  
 2. 応募作品は、水島協同病院のロゴマークを制作することを目指す

お問い合わせ先  
 〒712-8562 倉敷市水島南春日町1-1 水島協同病院 ロゴマークプロジェクトチーム(西村)  
 TEL 086-444-3211 メールアドレス: syomu@mizukyo.jp